

## 新しい国策の提案

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

既存経済基盤は、新しい現実との軋轢において、葛藤を有する。これらは経済における強さは必ずしも先端性でなく、その裾野の広さであることは正しいのである。しかし新しい時代が新しい技術と資本基準を有することに対して参加できる企業は限られるのである。

これら経済基盤への経済施策は、現実の解決を、変化を与えることができる。これら世界の新しい現実には新しい技術とシステム基準における自己を求めることであり、経済安全保障という新しい概念は、経済の本来の意味を与えるものである。これは、経済は軍事力、政治力、資本力とともに重要なファクターを与えるものである。

これらは政治が高い理解において自己経済運営を要求されるという真実を認識しなくてはいけない。これらはマクロ経済が支配することではなく、経済の実情と新しいビジョンを求めるものなのである。

軍と宇宙は新しい時代への突入を有する。これらは明らかに技術進歩が、新しい技術文明を模索しているからなのである。そのため先端性におけるこれら自己基盤と基準における転換は早急に求められるものである。

外交は、ロシアの崩落とアメリカの一国主義が、新しい現実を世界に与えたのである。これらへ経済力を基盤とした独自外交の提案は誤りとならない。アメリカ追従における政治は、自己プレゼンスの回復を求めることが選択として存在し、独自外交は経済という基盤において世界における重要なファクターとしての参加を可能とできるはずである。

内政においては、政治における新しい自己基準や、教育と社会、生活における世界との同等基準における再整備は必ず要求されるものである。

これらは唯一政治における理解と新しい自己基準において与えられるものであり、政治のコンセンサスとともに、国家の新しい未来への転換は、時代変化への正しい対応として求められるはずである。